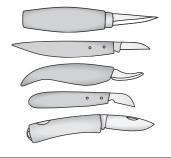
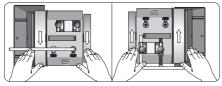
SVM-00スモールナイフホルダー



小刀 各種彫刻刀,曲がりナイフ そして、 折りたたみナイフ



本体の位置



砥石の回転方向: 刃先に向かってでも、刃先から離れてでも、どちらでも砥げます。

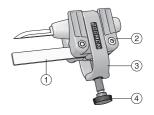
注意 ナイフを研ぐ時は作業台高 すぎてはいけません。研ぐ人の身 長にもよりますが、作業台の高さは 550-650が適しています。

構造

スモールナイフホルダーSVM-00はトルメックナイフ用センタリング治具KJ-45を補うものです。スモールナイフホルダーはKJ-45の使用範囲を拡大し小型ナイフも砥げるようにします。KJ-45の前のモデルのナイフ治具SVM-45に同じように取り付けることができます。

各部位名は以下の通り:ガイドバー①、ハンドルグリップ②、調節クランプ③。ナイフのハンドルを固定するつまみ④。小型ナイフーホルダーはハンドルを傷つけずしっかり固定できるように設計されました。

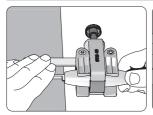
ガイドバー①をトルメック用治具KJ-45に挟み、そして、ナイフ用治具SVM-45と同じ使い方で砥ぎます。刃研ぎの際に調整ストップ⑥で調節するか或いはユニバーサルサポートに付属しているマイクロアジャストを使って正確な刃先角度を設定します。





ナイフホルダーに固定

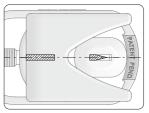
1. SVM-00にナイフを固定



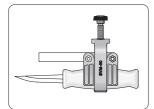
ナイフをまっすぐになるようテー ブルの端に置き、ナイフハンドル をSVM-00に固定します。

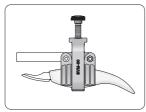


図のように片手でガイドバーとナ し、もう片手でつまみを閉めます。



ナイフホルダーの横から見て刃と イフの刃を押さえ落ちないように ガイドバーが一直線上にあること を確認してください。





ナイフハンドルの形状は多種多様ですので、固定できる箇所はそれぞ れのナイフで異なります。動かないよう、確実に取り付けてください。

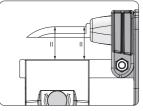
2. 小型ナイフホルダーSVM-00をナイフ用センタリング治具KJ-45にセットします。



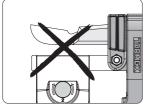
つかみを緩めます。



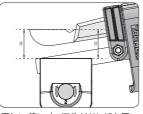
SVM-00のガイドバーをナイフ治 具に挟みネジで調節します。



ナイフの刃先がKJ-45と平行にな っていることを確認してください。 黒いつまみを締めます。



間違った使い方。刃先はKJ-45と 平行になっていない。



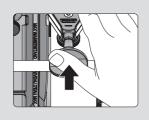
正しい使い方。刃先はKJ-45と平 行になっています。

砥石の回転方向刃先に向かって砥ぐか刃先から離れて砥ぐか

砥石の回転方向を刃先に向かって砥ぐ場合



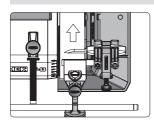
刃先に向かって砥ぐ時は常にユニバーサルサポートを垂直に取り付けます。垂直にすることで砥ぎやすくなり、バリがすくなく簡単に砥ぎ直すことができます。折りたたみ式ナイフを砥ぐ時は刃先に向かって砥ぎますと砥ぎ作業中に刃先が閉じてしまう心配がなくなります。



注意

ナイフ治具にすこし力を加え、常に治具がユニバーサルサポートの裏側に押し付けられているような状態にしてください。力を加えることで刃先を均一に砥ぐことができ、刃先が砥石に割り込む心配もなくなります。

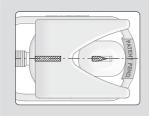
砥石の回転方向を刃先から離れて砥ぐ場合



ユニバーサルサポートを水平方向に設置し、刃先から離れるように砥ぐこともできます。通常機械の置かれた作業台の高さは地面から700mm以上が作業に適しているとされています。刃先から離れて砥ぐ方法ではナイフの刃が砥石に割り込むことはないので、安心して砥げます。ゆっくり刃先を砥ぎたい時は、刃先から離れる方向で砥ぐ方法がお勧めです。

砥ぎと仕上げ

刃先の角度を設定してKJ-45と同じ方法で砥ぎます。詳しくはハンドブックをご覧下さい。かえりを研ぎ直した後に、皮製のレザーホイールで仕上げます。KJ-45の使いかたは当サイトwww.tormek.comより無料でダウンロードできます



注意 図のようにナイフホルダーとナイフの刃を一直線上に固定することが難しい場合もあります。また、表側と裏側で刃の角度の付け方が違う場合もあります。ナイフの刃は表と裏では対称的に刃付けされてない商品もありますが、それぞれの面に対して適した角度で低ぐことができます。これらの場合、砥ぎ角度をマイクロアジャストで調節することができます。

